

クラシック音楽をもっと身近に感じてほしい。そんな思いから県内の高齢者施設で毎月、「参加型」のコンサートを開催している人がいる。福岡市南区のトランペット奏者、飯野千春さん(62)。大企業を早期退職し、52歳で音楽の道に進んだ異色の経歴の持ち主だ。



福岡市南区の介護付き有料老人ホーム「ケア・ラポート野間」で演奏する飯野千春さん(右)と、ピアノ伴奏する三善京子さん

高齢者の心に音楽を

知(分地)された支藩。黒う騎馬武者が描かれた軍田官兵衛の孫、黒田長興が一扇、柄に螺鈿が施されたやれる。24日は教員の働き方 招く。25日はコミュニティ

24、25日、福岡市内で開か 教育研究家の妹尾昌俊氏を 岡女学院大(南区日佐3丁 せは生田やん 0924) 0@gmail.com

15日、同区の介護付き有料老人ホーム「ケア・ラポート野間」にトランペットの音色と約20人の入居者の歌声が響いた。

歌詞カードを手に「荒城の月」や「赤とんぼ」などを歌う入居者の中には、「懐かしい」と涙をぬぐう姿も。飯野さんは3種のトランペットを曲ごとに使い分け、三善京子さん(49)のピアノ伴奏でシューベルトやドボルザークのクラシック曲、自身のオリジナル曲など計12曲を披露した。

「ドボルザークの交響曲第9番」



NPO法人「Music Dream Creation」理事長の飯野千春さん

福岡市のトランペット奏者 飯野千春さん

施設巡り参加型の演奏会

『新世界より』の新世界とはどこのことでしょうか。コンサートではいつも、集まった人に質問しながらプログラムを進める。作曲家の人物像やその時代の背景も紹介。演奏と会話でお年寄りとの交流を図るのが「参加型」の特徴だ。

50代で音大に入学

東京出身。7歳でピアノを始め、中学の吹奏楽部でトランペットと出会い、慶応義塾大を卒業するまで没頭した。日立製作所に入社後

12年ほどは仕事に打ち込み、トランペットから遠のいた。だが、35歳からは茨城や静岡などへ転勤するたび、その土地の市民オーケストラに所属するようになった。

「文化、芸術、娯楽の土壌がある」と、福岡に活動の拠点を移したのは12年。現在はNPO法人「M

51歳で「自分にしかできないことをやりたい」と会社を辞めた。東邦音楽短期大(東京)に入学し、トランペットを専攻。音楽療法も学び、音楽に専念する第二の人生を歩み始めた。

翌年、東日本大震災が発生。「被災者のために何かできないかと」、トランペットとキーボードを抱えて被災地や避難所での慰問コンサートを始めた。活動は1都13県に広がり、演奏会は計23回に及んだ。2016年に起きた熊本地震の避難所も訪問した。

「福岡のオンリーワンになり、80代でも現役でいたい」。今後は、障害者施設や保育園でも演奏会に取り組みたいと意気込む。出張コンサート(有料)の問い合わせは飯野さん 090(6706)1771。(小林稔子)

歴史お話し会主催。092(9224) 紙飛行機大会 生募集 2月2日 半②午後1時の、上府北の新宮北館。折り紙飛行機空時間と飛行距離秒以上か10分以上

J:COMチャンネル福岡 0120-999-000 11ch
7.30 LIVEマルチ情報館 お天気&イベント情報
10.30 あみ〜ご!アビスパ 視聴者の皆さんにアビ

知人の子息が 勤めだした約 ら、年賀状は送 購入してきた。 があるのは聞い 注文した年賀状 お礼の日用品と く。ちよつと がつれしい▼か 保険の不正問題 日本郵政グルー 者を欺く手口や 不利益になる契

花時